

事務事業	11035	子どもの権利の日イベント開催事業	担当課 課長	子育て支援課 吉原 正治	担当係 担当者	子育て支援係 荻原 美和子
計後 画期 体計 系画	施策	07 子どもの権利を守り、安全で健やかに成長できる まちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	230 子どもが安心して生きる権利を保障する		款	3	民生費
法令根拠条例等			志免町子どもの権利条例			個別計画
実施期間	□28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返		H19 年度より開始		□期間限定(複数年) 年度～ 年度	

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) しめまち子どもの権利の日(11月20日)にちなんで、子どもの権利の関心や理解を深めるためふさわしい事業を行う。	<input type="checkbox"/>	2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 子どもの権利について啓発や子ども自身の参画を目的としたイベントを開催する。 子どもの権利に関する講演会や、子どもが自らの力で企画実施するイベントなどの開催。 町内保育園等の子ども施設に呼びかけ、実行委員としてイベントの企画・運営を委託により行ってもらう。	主 な 事 業 費 の 内 訳	子どもの権利フェスタ企画運営委託料 324 千円
		印刷製本費 76 千円
		消耗品費 39 千円
		折込手数料 22 千円
		千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

事務 事業 の 目 的	① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ・実行委員会3回(説明会を含む) ・広報(「広報しめ」に折込チラシ) ・各団体に企画・運営の委託、協力依頼 ・その他(準備作業) ・子どもの権利フェスタ本番(H28.11.20)	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	指標数値			
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) 町民	名称	単位	27年度	28年度	29年度
		ア 実行委員会開催数	回	3	3	3 (見込)
		イ 実行委員団体数	団体	18	18	7 (見込)
	③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 子どもの権利について知ってもらう。	ウ 実行委員団体協力者数	人	280	234	150 (見込)
		⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)				
名称		単位	27年度	28年度	29年度	
⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	ア 人口	人	45,593	45,662	45,662 (見込)	
	イ 参加人数	人	目標	1,170	1,170	500
			実績	1,151	1,113	
	イ 参加した町民の割合	%	目標	2.6	2.7	1.0
			実績	2.5	2.4	
	ウ 子どもの権利条例の認知度	%	目標	50.0	50.0	35.0
実績			30.3	31.7		
エ		目標				
オ		目標				
		実績				

(2) 総事業費の推移

事 業 費	財源内訳(千円)		27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	
	経 費	国・県支出金、地方債等							
		受益者負担等							
		一般財源	451	518	459	688	338	338	
		合計(A)	451	518	459	688	338	338	
		(内臨時・嘱託職員人件費)							
		正職員人件費[按分](B)	2,792	2,308	1,849	1,658			
	トータルコスト(A)+(B)	3,243	2,826	2,308	2,346	338	338		

# 事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

## (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
子どもの権利条例(平成19年施行)に基づき、平成19年に開始された。 (条例第5条第3項「町は、「しめまち子どもの権利の日」の趣旨にふさわしい事業を行います。」)	予算について子育て支援交付金の一部が一般財源化されたことにより、全額町の負担となった。	イベント参加者へのアンケート結果(回答人数50人)「子どもの権利条例を知っていますか。」の問いに、回収されたアンケート中36%の方が「はい」と回答。(成果指標のアンケートとは別) 「子どもの笑顔が見れたから楽しい」 「子どもたちの権利を守るための権利条例を町の子どもたちそして親、地域に波及していきたい。」 「一番聞いてもらいたい子どもの権利の話になるとどうしても集客できていない。工夫が必要」

## (4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善  <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	◇子どもの意見が、結果として何かの形で現れ、子どもに満足感を与えられるような内容の工夫 ◇大人への子どもの権利条例啓発 大人と子どもの意見交換の内容の工夫など ↓ 「子どもの権利条例」の内容についての認知度を上げる。	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません)  <input checked="" type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	「子どもの権利条例」の内容についての認知度は上がっていない。

## 2 評価(SEE)及び全体総括の部\* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

### (1) 評価

	評価の理由
<b>目的妥当性評価</b> ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	総合計画の「子どもの権利を守り、安全で健やかに成長できるまちをつくる」という施策の目的に結びつく。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	子どもの権利を尊重し、あらゆる施策を通じてその権利の保障に努めることを総合計画の中で行政の役割としている。
<b>有効性評価</b> ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	「子どもの権利条例」制定10周年を迎え、これまでの活動を精査し、成果向上する余地がある。
<b>評価</b> ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	子どもの権利条例に基づいたイベント開催事業であるため、継続の必要がある。
<b>効率性評価</b> ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input checked="" type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input type="checkbox"/> ない(理由→)	関係機関に企画・運営してもらい、イベントに必要な消耗品等の実費を委託料として町が負担している。子どもによる「人権かるた大会」に移行することにより委託料を削減することができる。

### (2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

オレンジリボンの製作を新たに取り入れ、「子どもの権利」の内容や「虐待防止」について参加者に啓発できるように意識して取り組み、多くの人に「子どもの権利」を知ってもらうことができる貴重な場となった。参加者が同じ人に限られており、内容もマンネリ化しているため、10年を節目にこれまでの活動を見直し、精査する必要がある。
--

## 3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→  <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	「子どもの権利条例」制定10周年記念講演会を開催する。→子育て世代の親子だけでなく、広く呼びかけ町民に啓発できる。 スペースdeGUNと子どもたちが協働で作成した「人権かるた」を使い、かるた大会を開催。→子どもの意見を取り入れ、それが成果物として現れる機会となる。